

ふるさとわがまちづくり

青木台自治区

◆自治区設立

青木小学校を中心とする標高50～100メートルの台地は戦後に急速に開拓され、昭和45年に市街化区域・調整区域の線引きによる土地利用変更に伴い、この地へ全国各地からの移住で、急成長し世帯数が増加しました。これに対応するため、「越戸一区」を「平戸橋一区」「青木台区」に分区することが決まりました。青木台区は、この台地の北端に位置し、青木町1～4丁目の地域をいいます。

◆地名の経緯・由来

青木町一帯は、以前は、猿投村越戸字青木原（あおきはら）とっていました。この地域の地形は台地上で、地下水位が低いので水の便が悪く、土地は痩せ、全域にわたり小マツの生えた原野であったといえます。この原野の様子から「あおきはら」といわれます。

自治区名を「青木台」としたのは、青木町5丁目昭和42年から区名「青木」としていたこと、また、同じ台地上にある中学校が「猿投台」としていたため、これにならって「青木台」としました。

◆自治区の誕生・苦労話

区民のさまざまな問題解決、ご理解と合意を得ながら物事に対処するため、日夜奔走の連続でした。

- 1 昭和50年5月13日
 - ・ 分区問題議案検討(自治区基本方針)
 - ・ 51年度に実施決定
 - ・ 50年4月1日現在 1020戸
平戸橋町 363戸 青木町 657戸



- 2 昭和50年9月6日
 - ・ 区民賛否調査
 - ・ 賛成33組・大勢に従う14組・不明1組・反対5組
- 3 昭和50年10月12日
 - ・ 諸問題解決
 - ・ 自治区名を「青木台」とする。
- 4 昭和50年10月25日
 - ・ 規約の制定
 - ・ 役員人選、役員選出
 - ・ 青木台区規約可決
- 5 昭和50年11月1日
 - ・ 臨時総会による分区の承認
 - ・ 越戸一区を「平戸橋一区」と「青木台区」に分離
 - ・ 青木台区を「34番組」に編成



青木台公民館



ふれあい行事 青木台区盆踊り大会

◆区民会館の建設

- 1 昭和57年12月8日
青木台公民館完成 オープン
全国各地からの移住で急成長
区民の集いの場としてスタート
- 2 平成18年2月26日
ふれあい会館青木台完成 オープン
誰もが気楽に利用できる施設として
スタート



ふれあい会館青木台

◆現在の課題

少子、高齢化に伴い、当区も自治区の役員選出等、区の運営方法を一考要していません。特に区の資金面も区費をどのようにするか等、今後検討する時期となっています。

◆これからの自治区づくり

- 1 安心、安全な区として防犯の取組を重点に実施
- 2 福祉の見直しを行い、区民全員が安住できる区を目指していきたい。

青木台自治区データ (H20.4現在)

世帯数：1184世帯
：657世帯(昭和51年)
組数：49組
面積：0.48K㎡
自治区たより：「自治区だより」
年4回発行
回覧：月2回
ちびっ子広場：11箇所
ふれあい広場：2箇所
防犯灯設置箇所：164箇所
小学校：青木小学校区
自治区会館：青木台公民館 (TEL45-5880)